



北高夢ロード通信

第6号 (2020.3)

豊北高校から下関北高校へ ～新年度に向けて～

会長 波多野宏之

山口県立豊北高校は、本年3月31日をもって74年の歴史に幕を降ろします。本会が活動を始めた2013年以降、県立高校統合の波が押し寄せ、夢ロード有志は、統合高を豊北高校の校地へ、との運動を展開しました。2018年、響高校との統合による下関北高校発足に際しては、同窓会関東支部への募金呼びかけもを行い、同窓会等と共同で滝部駅や総合支所などへの祝意幕掲出も行ってきました。高校との関係も密接となり、本年度からは<ギャラリー夢ロード>で月1回、総合文化部生徒のデッサン教室が始まり、7月には「北高成果展 2019」を開き、ここでは生徒自らが展示作業に当たってくれました。また、コミュニティー・スクールとしての新科目「地域探究Ⅰ」の授業支援に本会の豊北の水研究グループが当たっています。

こうしたなかでこの2～3月、「One for all, All for one 豊北高校74年のあゆみ展」が、同窓会、PTA、高校、そして夢ロードで構成する実行委員会主催で開催されました。高校所蔵のアルバム、校誌などとともに、過去3年間継続して北高卒業生の著作物を高校図書室へ寄贈する仲介を行う事業<先輩の本棚>の成果である16名105点の著作物も展示され、夢ロードの活動が、図らずも北高終焉に花を添えることになったとの感慨を覚えるところです。

ところで、今年度、上記北高関連以外では、<ギャラリー夢ロード>の改装が大きな事業でした。山口きらめき財団からの補助金を活用したギャラリー関連事業のなかでも大きな比重を占めるもので、これについては、本誌別稿をご参照ください。

新年度は、新装なったギャラリーでの活動のほか、<アートの本棚>の新しい展開やこどもを対象とした歴史教室などの活動も計画しております。また、これまで必ずしも十分でなかった下関・豊北地域の関連機関・団体との連携にも留意した活動展開を図ることにしており、新年度の総会でお諮りしますので、多くの会員の皆さまのご出席をお願いします。

本年度は会費値上げのご協力をお願いしたところですが、お陰さまで新規入会も多く、とりわけ、新設した賛助会員（機関・団体）としての入会もいただいております。会の概要と主な活動の歩みをカラーで紹介したリーフレットも作成しましたので、会員の皆さまのお近くで入会をお勧めいただく場合などにご活用ください。事務局宛てご一報いただければお送りしますのでよろしく願いいたします。

ギャラリー-夢ロード 第6回展 北高成果展2019

2019年7月16日から28日、「北高成果展2019」が、開催されました。会場となったギャラリー-夢ロードには、北高生徒が、授業及び部活動等で作った200点余りの作品が、所せましと展示されました。

展示作品は、様々なものがあり、特に家庭基礎の授業での作品、「ぺたんこポーチ」は、男子生徒の作品もあり、驚くほどていねいに作ってありました。また、服飾手芸の授業での「浴衣」が、着物用ハンガーにかけられ飾ってあったのは、入館者の目を一際ひいていました。

今年度、北高の総合文化部の生徒さんが参加されているギャラリーでのデッサン教室の作品も未完成のものもありましたが、展示されていて、下市自治会の方にも見ていただける良い機会となりました。

会期中は、生徒だけではなく、様々な年齢層の方が、大変興味深く観賞されていたようでした。文化祭などに出向く機会のない方達にとって、地元の高校生の授業や部活動での成果を具体的に知ることができたこの展示は、高校生をより身近に感じてもらえたという意味で、大変有意義なものであったと思います。



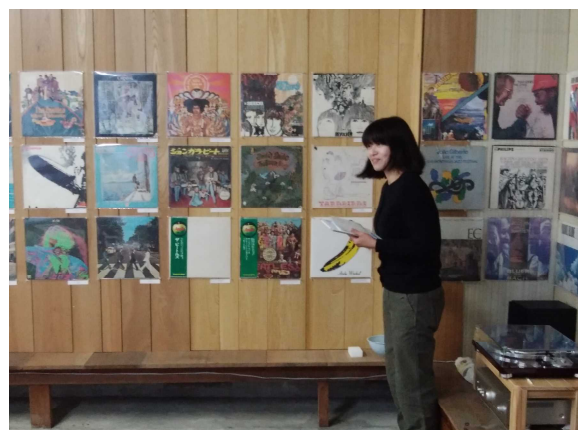
ギャラリー-夢ロード 第7回展 LPレコード・ジャケットと その時代

2019年11月5日(火)～17(日)まで、約100枚のLPレコードや音楽関係の図書が展示され、夢ロード会員による、ロック&ミュージック、モダンジャズ、クラシックのトークセッションもおこなわれ、たくさんの人に来て頂きました。

今回は、誰でも見たことがある名作ジャケットや、写真、イラスト、タイポグラフィーがかっこいい時代を経ても色褪せないおしゃれで飾りたくなるジャケットがたくさん展示され、聴いてみたいレコードがあれば、ギャラリーのレコードプレイヤーで聴くことも出来ました。

私は昔、おばが働いていたこともあり、商店街の「サウンドショップ・ヨシムラ」に足繁く通い、何枚もレコードを買いました。小さい頃は、妹とお揃いのEPレコードを買ってもらい、学生になるとCDを取り寄せてもらったり、ポスターをもらったり、本当にお世話になりました。

近年、配信で音楽が聴けるようになり、とても便利になりましたが、ジャケットが無くなってなんだか味気ない気がします。しかし、最近ではレコード人気が再燃していて、10年前と比べると10倍以上生産され、レコード専門店までもオープンしているそうです。若い世代の人にもこの機会にレコードを手にとってアナログの良さも実感していただきたいと思います。



＜ギャラリー＝夢ロード＞第8回展 美術作品を借りよう！ これが「アルトテイク」だ

2020年1月28日（火）～2月9日（日）、会員所蔵の日本画、水彩画、木版画、写真、ポスター計50点を展示。無料で3カ月間借り出して楽しんでいただく、「アルトテイク」の試みでした。今回、12名の方が各1点、計12点を借り出されました。日本では複製画貸し出しの例はありますが、本物で行うのは稀。手応えがありましたので、次のステップを模索したいと思っています。



【借り出されて寂しくなった壁面】
【ギャラリー・トーク（松尾伊知郎氏）】

模様替え作業、自己評価80点

今回、模様替えを頼まれた＜ギャラリー＝夢ロード＞は、滝部下市の中通りに面している。この旧陶器店の改装を「おもしろそうだ」と引き受けたことが、この数か月の悩みの始まりであった。内容は次のとおり。（写真参照）

- (A) 裏庭への通路に移動式の仕切りをつける。
- (B) 北側と東側の展示面を白く塗る。
- (C) ピクチャーレール、ピクチャーワイヤー

の取り付け。

(C) の材料費だけでも2万円以上かかる。予算は全部で5～6万円ほど…、ほぼ無理である。これを、またまた、おもしろそうだと引き受けるのだから、どうかしている。“藤岡工務店”と会長から持ち上げられ、おだてに乗った感がある。引き受けた次の日からリサイクル屋回りが始まった。ネットオークションでも探索、安い部材を見つけ出さなければならない。ところが不思議、欲しい部材は、2～3日ですぐに見つかった。

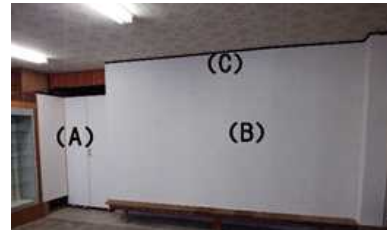
白壁塗りは、結局、塗装をやめて白壁紙張りをプロの表具屋さん頼むことになった。

“壁紙張り”という緻密な作業は自分には向かない。この選択は正しかった。リーズナブルで白い見事な壁面が仕上がったのである。ぜひ見ていただきたい。私ではこうはいかない。

作業は、1月のイベント開催までには完了させることができた。

- ①仮説をたて ②材料を集め ③結果を想像し ④予算を視野に ⑤要望どおりに仕上げる。

悩みながら、ほぼ予定どおりに実現できた。自己評価は80点というところか。



移動式の仕切りと壁紙の貼り付け仕上げ



日曜大工の要領で作業をする筆者



ピクチャーワイヤーを吊り下げたところ

第2回異文化交流の集い

10月20日 滝部公民館(太陽館)にて外国人急増、異文化交流時代を迎えるにあたり、日本語教育と留学を中心に「異文化交流の現状と未来」と題して現状と動向の把握、異文化交流の起点となる言葉をどうするかを日本語指導現場と高校サイドからの視点で4人の方による講演会を開催しました。

1. 《下関地域の多文化共生の取組と外国人の子供支援》 當房詠子 梅光学院非常勤講師
◆在留外国人数は山口県内16000人、下関市内4000人で増加傾向◆彦島では多文化共生のテーマで活動をしている◆子どもに教えるノウハウ、環境が無い◆分かり易い日本語表記が必要◆言葉を教えるには順序がある/教科特有言語を教える必要有り (日本語教師資格取得希望者は連絡をしてください)

2. 《ベトナム人研修生への日本語学研修:地域を巻き込んだ文化交流の模索》西村淳子

豊浦地区まちづくり協議会広報理事

◆豊浦地区工場の会社ぐるみの中国人研修例
◆人材派遣会社、予め日本語を勉強して来日するベトナム人研修生◆絵本理解教育、アオザイと着物着付け、日本人子供達との交流の必要性、地域ボランティアの参加交流◆研修生自身が働きたい国になる必要がある

3. 《首都圏学校の日本語指導の現状、具体例》城石郁裕 北高夢ロード実行委員会理事

◆松戸市の在留外国人、外国人学生の現状と急速な増加の動向◆松戸市の取組内容とボランティア活動の連携◆教育委員会と日本語指導スタッフ及び協力者派遣制度の概要と実施状況◆日本語指導現場の事例:指導

& レベル評価基準、記録◆教材紹介◆首都圏での課題

4. 《海外留学の促進と留学生受入に向けて》

山本弦 山口県立下関北高等学校 校長

◆公立高校過去5年間の派遣&受入情報◆日本

で増加傾向 下関北高校で短期留学3例◆留学メリット:使える英語、異文化体感、自己管理積極性等◆デメリット:入試対応、単位取得等◆留学生受入とホストファミリーの基本条件/文科省データ:豪、米、新、中国増加傾向

◆姉妹校提携1219校 豪、米、韓国/英語以外の開設667校、下関北も中国、韓国語

5. 講演後にディスカッションと懇親会で活発な意見交換、情報共有が行われました。

昨年6月日本語教育推進法が施行され、自治体に日本語教育の推進責務、企業に雇用外国人に教育機会提供努力の責務が課され、学校での指導手順、地域の日本語指導の人材育成と教材開発の支援の必要性を実感しました。

(松戸市教育委員会に取組紹介の予定) 城石

滝部公民館祭りへの参加

2019年10月26日(土)の滝部公民館まつりに参加しました。本会の活動報告をここ数年させていただいていましたが、今年はぜひ舞台上で映えることをやってはどうかという声をいただいて、下関北高の図書館に「先輩の本棚」として寄贈をいただいた書物からの一節を朗読することになり、中村高月氏(1953年卒・公立中学校長歴任・金子みすゞ研究者)「みすゞとあそぶ」の中の金子みすゞの詩3篇を朗読しました。「大漁」「みんなを好きに」「私と小鳥と鈴と」の3篇です。朗読は角島小学校5年生の杉原香蓮さんと東京で俳優として活動され、3年前に下関に移住された金子達氏です。金子達氏には中村先生のみすゞの詩の解説の部分を、杉原香蓮さんには詩の本文を朗読していただきました。50人の聴衆を魅了する朗読でした。このことが豊北町での演劇・朗読活動が活発化する端緒になることを願っています。

豊北の水研究 地域探究授業

下関北高開校2年目に入り、下関北高2年生の選択授業に「地域探究」という選択授業が設定されました。新高校のコンセプトがコミュニティ・スクールとして地域が高校を支え、高校が地域に貢献するというものであり、その実践として「地域探究」授業です。北高夢ロード実行委員会・豊北の水班としてこの授業に参加・協力する1年でした。

参加スタッフは主として藤岡達雄氏と岡崎、時に会員の方々の参加をお願いしました。授業は年間を通して毎週水曜日の午後1:45～3:20の連続授業でフィールドワークを中心としたものです。「地域探究」は生徒さんの興味・関心に従ってグループに分かれます。私たちが参加した授業は「自然・環境」というテーマのもので参加生徒さんは6名、責任をもって授業をリードされる倉橋先生とサポートの先生2～3名それに私たち北高夢ロードのメンバー2、3名というチームでした。実際に栗野川に入ってから授業では藤岡氏と岡崎は時に前日の準備、当日の午前中からの準備も必要でした。

年間の前半の授業は豊北町・豊浦町の地質学的探究ということで倉橋先生が主導。犬鳴海岸・夫婦岩・和久海岸・矢玉海岸・特牛海岸・角島の臨検でした。日頃、目にしている風景が地質学的に大きな意味を持っていることを生徒さんと一緒に学習させてもらいました。この地質学的探究は地域の活性化という観点から見ると「エコ・アンド・ジオ・ツアー・ガイド」に整備・展開できると感じました。豊北町の数か所を選定し、そこの地質学的な意味とその理由、そしてその上に載る生態系の特徴などをガイドする、できれば英語でもガイドできるようにするという構想です。

年間の後半は、北高夢ロードの主導で栗野川研究というテーマに入りました。ここは藤岡氏のリードで行われました。大きく分けると①栗野川流域の上流・中流・下流の水質調べ（基本のやり方を学ぶ）と水生生物の観察②アオノリの生育考察③油谷湾と塩④栗野川流域立体模型作成への試みの4項目になります。

- ① について10/2 北高正門前の久森川に初めて胴長を付けて川に入り水生生物を探す
10/23 中流域・オガ瀬で水質検査
10/30 上流域・中山神社で水質検査と水生生物観察。
- ② について 10/9 栗野川の下流に入り、藤岡氏作成のアオノリの種をコンクリートブロックに植え込んだものを生徒さん各自の判断で川に沈め、今後の種の成長を見守る。
2/12 同回収。まだアオノリの成長は見当たらない。
- ③ 百姓庵訪問11/6 油谷湾をボートで渡り、向津具半島の百姓庵・塩プラントを見学。
1/29 下関北高で百姓庵井上氏・渚の交番新名氏の塩と油谷湾についての講義。
- ④ 立体模型12/12栗野川流域地図作成2/22 紙粘土で立体模型モデル作成。

各授業のための藤岡氏の準備と生徒さんへの語りかけ、時にテーマにちなむ手作りのお菓子や飲み物の提供には私自身学ばされることが多くありました。最後の授業の時のリードされた倉橋先生の来年3年生でも「自然・探究」に参加するかの問いかけへの生徒さんの積極的な「そうします。」の答えは担当の先生方の努力によると思いつつ、同時に支えた私たちにもうれしく、励まされるものでした。

ふるさと納税と北高支援

皆さんご承知の通り、昨今首都圏では特産品などの高価な返礼品目当ての【ふるさと納税】が話題となっております。しかし山口県では【ふるさと納税】を寄付者の思いを伝える、母校や後輩を応援できる県立学校指定寄付システムが設けてあります。

北高夢ロード実行委員会では、関東在住のOBに働きかけ、下関北高を魅力ある未来像に繋げ、教育活動の更なる充実の為にこの【ふるさと納税】で支援すべく活動を開始、昨年度は4名の方にご協力頂きました。誌上を借りて御礼申し上げます。但し、活動のPR不足、手続きの不徹底、関東地区の台風被害等で募集結果は全く満足できるものではありませんでした。

北高夢ロード実行委員会としましては来年度も引き続き支援活動を行なって参ります。7月に《払い込み取扱票》が付属されたリーフレット『つながるやまぐち応援寄附金』と下関北高校でご用意頂く予定の、同校の活動振りを示す『山口県ふるさと納税の募集』を配布して改めて、詳細手順をご案内する予定です。資料中の《払い込み取扱票》の通信欄に下関北高校宛て《番号：④—44》を記入した上で振込手続を実施すると確定申告またはワンストップ特例申請を行うことで税の控除が受けられます。山口県ふるさと納税Webサイト <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10700/furusato/top.html> をご参照ください。県外在住、関係各位におかれましては引き続き

き本活動へのご協力を頂きます様、宜しくお願ひ致します。

問合せ先：北高夢ロード実行委員会 城石郁裕

[tel:09049697099/](tel:09049697099) japolo1329ik@gmail.com

『先輩の本棚』第3年次 読書週間＜アートの本棚＞ 北高図書室展示

「先輩の本棚」事業は、本年が最終年度。下記6名の方から15点（18冊）が寄せられました。（敬称略、卒業年度順）

中村高月（1953）、西嶋千香子（1957）、伊藤典子（1961）、白岡勝典（1973）、河野俊明（1983）山村勇介（2001）

3年間の合計16名105点（109冊）は、「豊北高校74年のあゆみ展」で展示されました。

また、2020年10月27日（日）～11月9日（土）の読書週間、恒例の＜アートの本棚＞北高図書室展示で、「中近東・アジアの古代美術～高松塚・正倉院まで」を特集し、約60点（70冊）を展示しました。



豊北高校74年の あゆみ展を終えて

2月25日(火)～3月8日(日)、豊北高校74年のあゆみ展を、ギャラリー夢ロードで開催した。展示物は、卒業アルバム、修学旅行や授業風景の変遷をまとめたパネル、学校誌「あしかび」、各界で活躍する卒業生の著作物等である。また、北高OBで、箱根駅伝を走った石川卓哉選手や横浜ベイスターズの平田真吾選手の関連グッズも展示した。新聞やテレビでも取り上げられ、期間での入場者は延べ132名であった。

来場された方々は、自分の写真や名前を見つけれられると思わず、声を上げられる方もおられた。修学旅行の写真を見ながら、「あの頃は、修学旅行に米を持って行ったのよ」とか、昼休み風景の写真では「あれは昼休みに弁当を食べているのではなく、早弁をしていたのだ」とか、懐かしそうに話しておられた。見ていると、なんだか16～18歳のあの頃の自分に会いに来られたようだった。黙って写真を見ながら、昔の自分に話しかけているようだった。何を話しているのか。「いろんなことがあったけど、今自分はこうなっているよ」まるで昔の自分に、今の自分を見せるような……。先生の写真を見つけては「先生、いろいろ迷惑かけたけど、今は何とかやっていますよ」なんて、近況報告をしているような……。友人、知人とのエピソードを思い出しているのかな。「校歌の音源がありませんか」という人がいれば、「家にはあるよ。一緒に行こう。すぐ近くだから」と。人と人がつながった。豊北高校卒業生というだけで、いいな一とつくづく思う。音源をもらった人はうれしそうに帰って行かれた。これから校歌がその人の応援歌になるんだろうな。

自分もそっとアルバムを手にした。1年の担任だった井上先生がいた。先生の英語の授

業でよく覚えていることがある。「なぜ、淋しいを英語で、lonely (ロンリー) というかわかるか。文字をよく見てみろ。囲いの中に一人でいるだろう。だから、淋しいわい」。ロンリーの綴りは絶対に忘れない。高校、大学を卒業し、教師になった。これは考えて見れば3年の担任だった平川先生が背中を押してくれたからだ。何か苦しいことや辛いことがあったとき、そっと目を閉じるといつも思い出たちが遠くで手を振ってくれていた。だから頑張れたような気がする。

卒業式を終えた卒業生が花束をもって、ギャラリーの横を通り過ぎていった。この子たちも、今の自分を懐かしく思うときが来るんだろうな。そのときをどんな気持ちで迎えるのだろうか。苦々しく思い出すのではなく、微笑ましく思い出してほしい。そのために、今を大事にしてほしい。早稲田大学時代、マラソンの瀬古利彦選手を育てた中村清監督の「若くして流さぬ汗は、年老いて涙となる」というこの言葉を贈りたい。頑張れ！後輩達。



2020年度
総会・豊北高校同窓会
との懇談会・交流会
(懇親会)のご案内

2020年度 北高夢ロード実行委員会総会を開催いたします。あわせて、豊北高校同窓会との懇談会、交流会(懇親会)も下記の要領で開催いたしますので、ご多忙中とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

つきましては、ご出席の有無等を同封の葉書にご記入のうえ、4月18日(土)までに届くようにご投函ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大如何では、日程の延期・行事の変更等の可能性がありますので、本会ホームページ(<http://yumeroad.org>)を参照されるほか、とくに
ご出席予定の会員におかれては、緊急の連絡のため、上記葉書には電話番号、メールアドレス等をご記入くださるようお願いいたします。

記

日時：2020年4月25日(土)

場所：滝部公民館(太陽館)

下関市豊北町滝部3397-12

電話：083-782-1296

スケジュール：

14:00-15:15

総会(会議室)

主な議題

2019年度事業報告・決算報告

2020年度事業計画・予算案

役員補充選出

5:30-17:00

豊北高校同窓会との懇談会(講義室)

テーマ：“北高”支援の今後と同窓会/夢ロード

17:00-18:30

交流会(懇親会)(和室)

参加費：1,500円(軽食と飲み物代)当日
お受けします。

会員外で懇談会・交流会参加ご希望の方は、
083-782-0563(秋枝)まで。

会費納入のお願い

2019年度会費を未納の方は、同封の振替用紙で、正会員2,000円、賛助会員(個人)一口5,000円をご納入ください。

郵便振替

記号 15550 番号 29155071

口座名 キタコウユメロードジッコウイインカイ

銀行などから

ゆうちょ銀行 店名 五五八 店番 558

預金種目 普通預金 口座番号 2915507

夢ロード通信 第6号(年2回刊)

2020年3月20日発行

編集：会報編集委員会

(秋枝・小塩・古田・村上・戸田)

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511

山口県下関市豊北町滝部842-6

Tel: 083-252-6032

ホームページ：<http://yumeroad.org>

E-mail: kitakoyumeroad@gmail.com